

営業の概況

平成18年3月期の連結売上高は101億2百万円(前期比0.6%増)、営業利益は7億円(前期比12.4%増)、経常利益は6億38百万円(前期比18.0%増)、当期純利益は1億76百万円となり、増収増益を達成いたしました。

■ 食品事業

食品事業におきましては、エリア政策として、首都圏・関西圏を重点に販売強化に取り組むとともに、販売店政策として、ピエトロブランドに対する理解と浸透に努めてまいりました。さらに、新商品開発にも注力し、平成17年9月にピエトロドレッシング「イタリアーノ」とパスタソース「たらこクリーム」を、平成18年3月にお料理ソース「辛ごまソース」とピエトロドレッシング「中華」を新発売いたしました。販売競争の激化と冬場の厳冬による野菜の品薄・高騰の影響により、売上高は伸び悩む結果となりました。また、生産効率の向上と商品開発の強化を目的に、生産拠点の「古賀工場」(福岡県古賀市)の第一工場と第二工場の機能を第一工場に集約するとともに、乳製品製造子会社の株式会社ピエトログルト(平成18年1月17日付清算)の「えびの工場」(宮崎県えびの市)の機能を第二工場に移管しました。一方、米国でのドレッシング・ソース類の販売を行っているPIETRO USA, INC.は、平成18年3月31日付をもって、その営業の全部を譲渡いたしました。以上の結果、売上高は47億80百万円(前期比0.4%減)、営業利益は15億98百万円(前期比2.7%減)となりました。

■ レストラン事業

レストラン事業におきましては、「野菜でイタリアン」をテーマに、季節ごとの旬の野菜を使ったメニュー展開をし、集客増に取り組んでまいりました。また、直営の店舗展開では、ミオミオ事業の不採算店の収支改善のため2店舗をレストラン事業に移管し、新業態のカフェ及びレストランとしてリニューアルオープンいたしました。一方、FC(フランチャイズ)店におきましては、ロイヤリティを出店数に応じた逓減方式に改め、FC店オーナーへの経営支援と出店意欲の向上を図ってまいりました。さらに、FC店の店舗展開では、国内3店舗、海外2店舗の合計5店舗を新規出店いたしました。以上の結果、売上高は44億58百万円(前期比1.8%増)となり、営業利益は50百万円(前期比62.7%増)となりました。

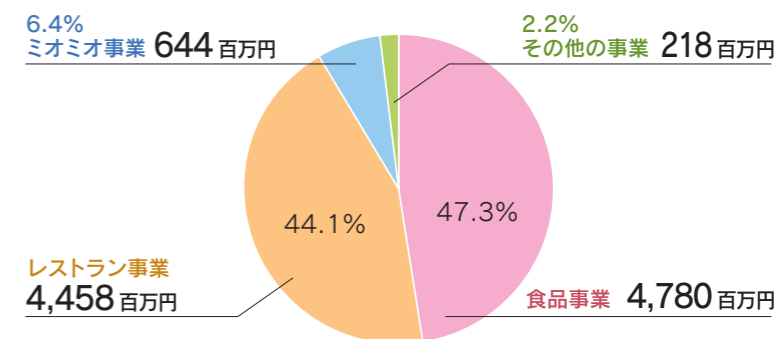
■ ミオミオ事業

ミオミオ事業におきましては、メニュー開発に注力し、定番メニューのサラダパスタの充実に努めるとともに、低価格メニュー及び季節メニューの開発・販売に取り組んでまいりました。また、既存店の認知度向上による集客増と経費の効率化に取り組み、店舗展開では、1店舗の新規出店をする一方、3店舗を閉店いたしました。以上の結果、売上高は6億44百万円(前期比2.3%減)となり、営業損益は1億65百万円の損失となりましたものの前期比1億26百万円の改善となりました。

■ その他の事業

その他の事業におきましては、本社ビル等の賃貸事業の入居率の高まりにより、売上高は2億18百万円(前期比8.3%増)、営業利益は1億20百万円(前期比15.1%増)となりました。

● セグメント別売上構成比



● 店舗分布状況 (平成18年3月31日現在)

